

公共財団法人 久留米市生きがい健康づくり財団

投稿者 学校整備課長 星野 正和 様



企業概要および事業内容

当財団は、久留米市民に対して、生きがいづくりに関する事業や子育て支援・児童の健全育成に関する事業等を行うことにより、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりに寄与するため、市の公共施設等において様々な事業を展開しています。

- 久留米市生涯学習センター（えーるピア久留米）、筑邦・耳納市民センター多目的棟の管理運営
- 久留米市児童センターの管理運営
- 学校施設の環境整備事業

特に、自衛隊OBの方々が活躍されている学校施設の環境整備事業では、学校校務員を市内63の小・中・高・特別支援学校へ配置し、校舎の営繕、樹木の手入れ、安全巡視等を行い、児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、日々安全で快適な環境の整備に力を注がれています。

退職自衛官を採用するに至った経緯

学校校務員業務に有用なスキルや資格を有していること、並びに、統率力が高いことで現場の係長や主任として学校校務員のマネジメントが期待できることなどから、採用を始めました。

退職自衛官の仕事の内容

久留米市教育委員会から受託している小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の学校施設の維持管理、環境設備、運営に関する業務及びその他の管理運営上必要な業務に従事しています。

具体的には、校舎内の営繕、校庭の整備、花壇の整備、かん水、除草、樹木の剪定、事務補助などを行っています。

退職自衛官の働きぶり

スキルや資格を活かし、しっかりと学校校務員の業務を遂行してもらっています。また、仕事の役割を自覚し、積極的に業務に取り組んでもらっています。

元自衛官からのメッセージ

～再就職活動をスタートする後輩自衛官に向けて～

第8高射隊 高良台分屯基地で定年退職（令和7年4月入職）池部 裕史 氏

この仕事は、人の役に立てる仕事として希望しました。一人でやる事が多い仕事ですが、私にはとても合っています。これからこの仕事を選ばれる方へ、体が資本、健康第一だと思いますので、現役のうちに悪いところは治しておきましょう。



～小さな感謝の声がモチベーションに～

第103施設機材隊 小郡駐屯地で定年退職（令和7年4月入職）山崎 裕之 氏

私は、令和7年3月に陸上自衛隊を定年退職し、同4月に久留米市生きがい健康づくり財団の学校校務員として採用して頂きました。

最初は、慣れない仕事で分からない事も多く、限られた時間の中で学校のニーズに応えなければならないというプレッシャーもあり大変不安でした。

学校校務員は、多くが1つの学校に1人が配置となりますが、入社後から校務員業務に必要な知識や基本的な工具の使い方等を学ぶことができる研修が定期的に行われ、更に直属の上司や先輩へ相談できる環境も整っているので、不安なく業務を行うことが出来ています。

今では、学校の特色を把握しつつ、子供たちが毎日過ごす環境を教職員の方々と連携を図り、計画的に整えているところが魅力です。

また、作業を行っている時、「いつもありがとう」「今日もがんばってね」と小さな子供たちが感謝の声をかけてくれると嬉しいし、日々の大きなモチベーションになっています。

